

中学校第2学年 国語科単元計画【課題発見・解決学習】

指導者 三次市立八次中学校

単元名：いにしえの心を訪ねる
「仁和寺にある法師—『徒然草』から」

本単元で育成する資質・能力
コミュニケーション能力

単元の目標

【単元の目標】

- (1)『徒然草』に表れているものの見方や考え方を読み取り、作者の思いなどを想像して読もうとする力を育成する。
- ・相手の考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言から自分の考えを広げることができる。【A—(1)—オ】
 - ・事柄や意見が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫して書くことができる。【B—(1)—ウ】
 - ・『徒然草』に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつことができる。【C—(1)—エ】
 - ・古典の世界に興味を持ち、古典特有の調子に注意しながら音読することができる。【伝—(1)—ア(ア)】

単元計画

指導の計画（全7時間）

次	学習内容(時数)	評価規準
一	<p>古典と現代のつながりを想起し、「自分流徒然草」の単元の見通しをもつ。(1)</p> <p>課題の設定①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「徒然草」の作者や、時代背景、歴史的仮名遣いなどを理解し、「仁和寺にある法師」を音読する。 <p>「徒然草」はどんな作品なのだろうか。現代まで読み継がれている理由は何だろうか。</p> <p>情報の収集①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から、作者の兼好法師がどんな人物なのか読み取る。 	<p>ア 「徒然草」の表現に慣れ親しみ、内容について理解しようとしている。</p> <p>イ 表現の特徴を生かし、工夫して「徒然草」の序文を朗読しようとしている。</p> <p>エ 作品に込められたメッセージや文学作品としてのよさについて、自分の考えをもち、友達と話し合っている。</p>
二	<p>「仁和寺にある法師」から、徒然草の書き方や作者の考えを読み取る。(2)</p> <p>情報の収集②</p> <p>「仁和寺にある法師」はどんな失敗をしてしまったのだろうか。</p>	<p>エ 「徒然草」を朗読し、表現を味わいながら、作者の考え方について、自分の感じ方と比較して感想をまとめている。</p> <p>オ 「徒然草」を朗読し、登場人物の行動や心情について理解している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 文章がどのような構成になっているか考え、前半に失敗のエピソードがあり、後半に人生の教訓が書かれていることを理解する。 「少しのことにも、先達はあらまほしきことなり。」はどういう意味かを読み取り、作者の意見を考える。 	
	<p>「高名の木登り」の現代語訳を読み、「仁和寺にある法師」との共通点をもとに、「自分流徒然草」に生かせるポイントをとらえる。(1)</p> <p>情報の収集③</p> <ul style="list-style-type: none"> 「高名の木登り」も「仁和寺にある法師」と同じように失敗のエピソードがあり、最後に作者が考える教訓があることに気付く。 	<p>ア 文章の形式や表現に興味をもち、その世界に親しもうとしている。</p> <p>オ 作品に登場する人物について、現代のものの方や考え方と比較しながら捉えている。</p>
三	<p>自分や身の回りの人の失敗談に対して、作者になりきって「自分流徒然草」を書く。(2)</p> <p>まとめ・表現①</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が過去にしてしまった失敗と、そこから学んだ教訓を書き、『自分流徒然草』を書く。 書いた文章を読み直し、失敗談と教訓に整合性があるか見直しをさせ、よりよい文章にする。 	ウ 失敗談とそこから得た教訓が読み手に効果的に伝わるように、構成を工夫して書いている。
	<p>書いた「自分流徒然草」をグループで交流し、相互評価、自己評価をする。(1)</p> <p>まとめ・表現、振り返り①</p> <ul style="list-style-type: none"> 『自分流徒然草』をわかりやすく相手に伝える。 相手の発表を聞き、内容や話し方などについて評価する。 	<p>ア 情報を的確に聞き取るための工夫について考え、話の要点をメモに取ろうとしている。</p> <p>イ 原稿をもとに、話し方を工夫し、相手に分かりやすく「自分流徒然草」を発表している。</p>